

KVK 定量止水付サーモスタット式シャワー KF159(W)(T) 〈各仕様共通〉 施工説明書1

施工業者様へ 施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
この施工説明書と取扱説明書は必ずご使用になるお客様にお渡しください。










■この施工説明書はKF159T仕様のイラストで説明しています。




安全上のご注意

- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重傷に結び付く可能性があります。
 - ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 この絵表示は、してはいいない「禁止」の内容です

 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です

警告	<p>湯水を逆に配管しないでください。</p>  <p>禁止</p> <p>水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。必ず給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。</p>	<p>給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。</p>  <p>禁止</p> <p>85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>加工および接合等の改造はしないでください。</p>  <p>禁止</p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
	<p>給湯に蒸気を使用しないでください。</p>  <p>禁止</p> <p>器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。</p>	<p>配管などの解氷のため、解氷機を使用する場合は、水栓には絶対に通電しないでください。</p>  <p>禁止</p> <p>通電すると水栓が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>寒冷地仕様の場合 水抜き栓は水抜き以外の目的で開けないでください。</p>  <p>禁止</p> <p>水抜き栓をいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
	<p>スチームルームおよび乾燥室にご使用の際は相談ください。</p>  <p>注意</p> <p>器具が破損して、やけど、漏水のおそれがあります。</p>	<p>温度調節ハンドルの目盛が、吐水温度と合っているか確認してください。</p>  <p>注意</p> <p>取付現場の圧力状況により目盛通りの湯温にならず、やけどをするおそれがあります。</p>	<p>ストレーナの清掃は止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。また、操作の際は湯側ソケットが熱くないことを確認してください。</p>  <p>注意</p> <p>高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>

注意	<p>器具に強い力や衝撃を与えないでください。</p>  <p>禁止</p> <p>器具が破損し、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>めっき部品は、ぶついたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。</p>  <p>禁止</p> <p>めっきの表面が割れて、けがをするおそれがあります。万一めっきの表面が割れた場合は、ただちに新しい部品に交換してください。</p>	<p>凍結が予想される際は、一般地仕様をお使いの場合、少量の水を出しておくか、配管に布を巻くなどして、凍結を防止してください。寒冷地仕様をお使いの場合は配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。</p>  <p>注意</p> <p>水抜きしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
-----------	---	---	--

取り付け前に

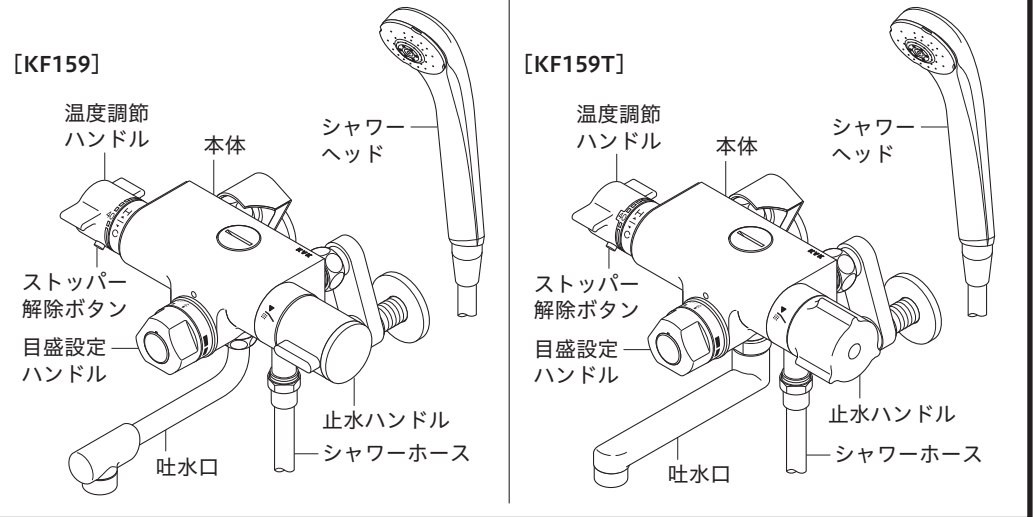
- ① 使用水圧 (A= (給湯器の最低作動水圧) + (配管圧力損失))
 - (1) 瞬間給湯器との組み合わせ (設定条件 水温: 25℃ 給湯器温度調節: 高温 吐水温度: 42℃ ハンドル全開)

(比例制御式) 最低必要水圧: A+50.0KPa(動水圧)、最高水圧: 0.75MPa(静水圧)
 - (2) 貯湯式給湯器との組み合わせ

(給湯・給水圧力) 最低必要水圧: A+50.0KPa(動水圧)、最高水圧: 0.75MPa(静水圧)
- ② 給水圧力は給湯圧力より高くするか、同圧になるようにしてください。
- ③ 給水圧力が0.3MPaから0.75MPaまでは止水弁で流量調節してください。
- ④ 給水圧力が0.75MPaを超えるときは、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。
- ⑤ 給湯器の給湯温度は、50℃～60℃に設定することをおすすめします。
- ⑥ 給湯器からの配管は最短距離で配管し、配管には保温材を巻いてください。
- ⑦ 使用諸条件を加味して適正な能力の給湯器を選ばないと、適正な吐水量及び吐水温度が得られないことがあります。
- ⑧ 本製品は、改造(加工および接合等)によるトラブルについては、保証の限りではありません。
- ⑨ 通水検査をしていますので器具内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

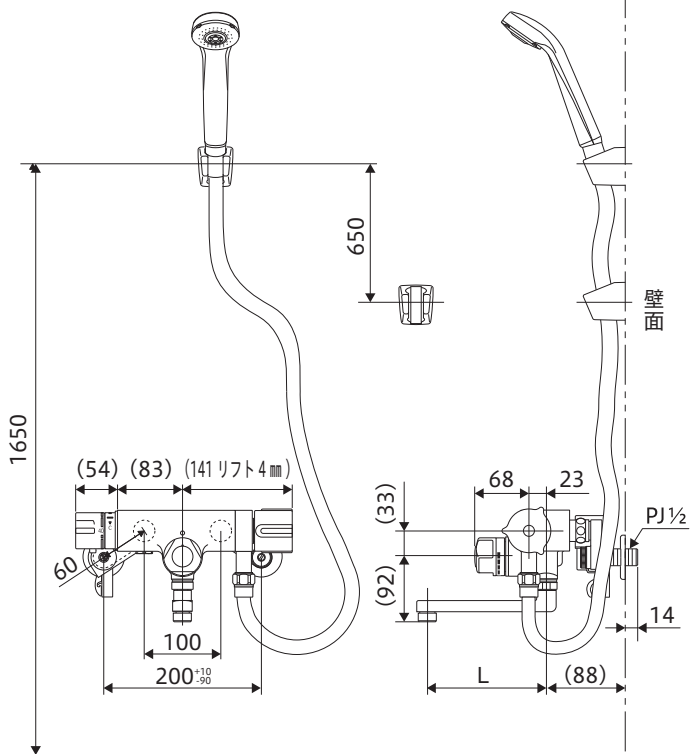
取り付け完成図と各部の名称

部品の形状は仕様によって異なる場合があります



寸法図 / 分解図 この分解図は製品説明図であり、サービス部品の単位を示すものではありません。

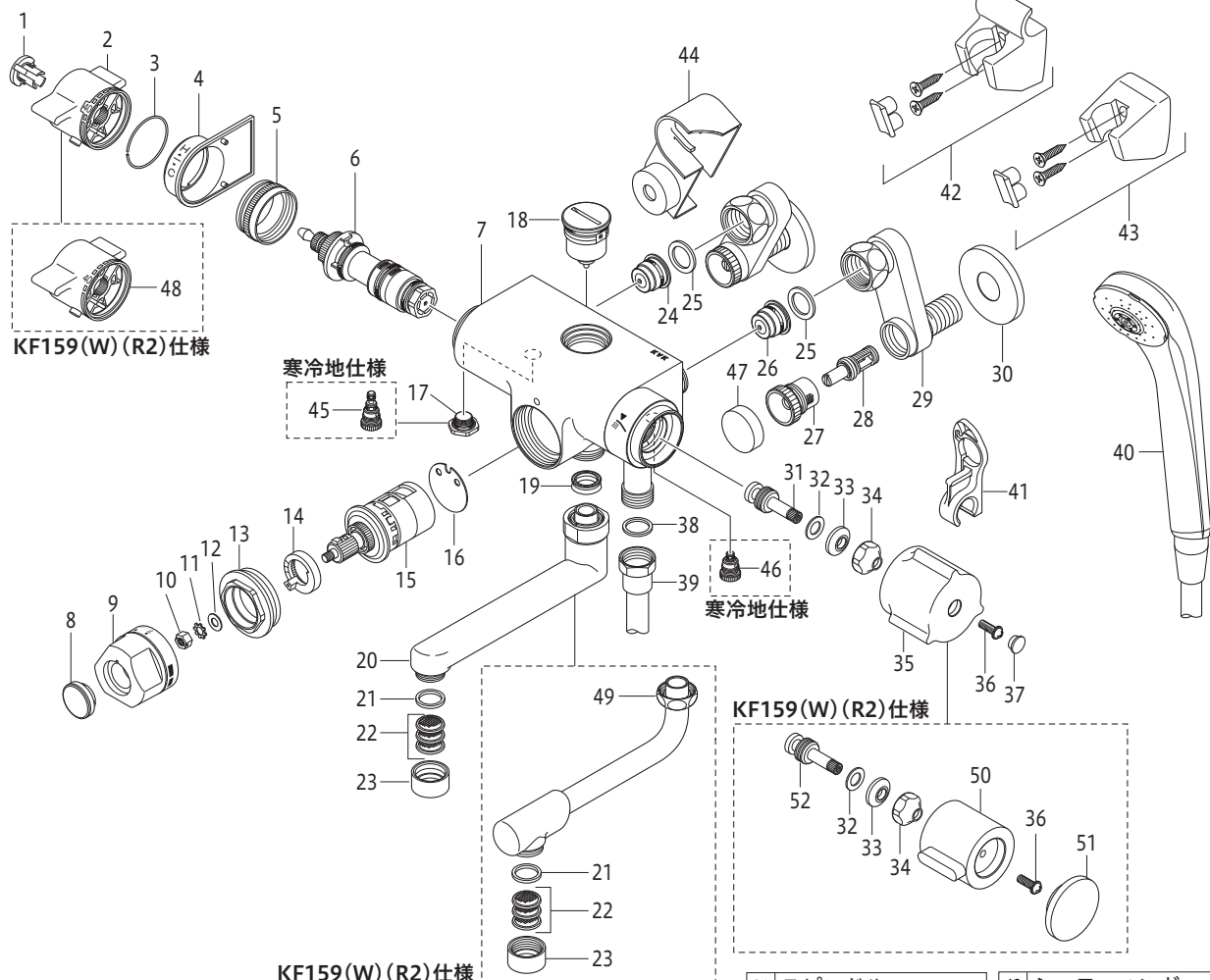
寸法図



L	KF159(T)	KF159(T)R2
	170	240

3 ページ

分解図 部品の形状は仕様によって異なる場合があります。



1 キャップ	11 歯付座金	21 パッキン	31 スピンドル	42 シャワーハンガー
2 温度調節ハンドル	12 座金	22 ストレーナ	32 座金	43 シャワーハンガー
3 止めリング	13 固定ナット	23 整流器キャップ	33 三角パッキン	44 ソケットカバー
4 温調カラー	14 ストップガイド	24 湯側逆止弁	34 袋ナット	45 湯側水抜き栓
5 固定ナット	15 定量カートリッジ	25 パッキン	35 止水ハンドル	46 水側水抜き栓
6 サーモスタットカートリッジ	16 パッキン	26 水側逆止弁	36 ねじ	47 止水栓キャップ
7 本体	17 蓋	27 ストレーナ	37 キャップ	48 温度調節ハンドル
8 キャップ	18 止水弁ユニット	28 止水弁	38 パッキン	49 吐水口
9 目盛設定ハンドル	19 Xパッキン	29 ソケット	39 シャワーホース	50 止水ハンドル
10 ナット	20 吐水口	30 送り座	40 シャワーヘッド	51 キャップ
			41 ホースガイド	52 スピンドル

4 ページ

取り付け注意事項 (取り付け前に確認してください)

水栓を取り付ける際は、下記の条件を満たしてください

水栓を正面から見て浴槽が左にある場合	水栓を正面から見て浴槽が右にある場合
① 水栓設置位置 ① 浴槽のフチの中心から水栓本体の中心が「右側」になるように取り付ける 	① 水栓設置位置 ① 浴槽のフチの中心から水栓本体の中心が「左側」になるように取り付ける
② 水栓の高さ 浴槽上面から水栓取付位置を 200 mm以上確保する 	② 水栓の高さ 浴槽上面から水栓取付位置を 200 mm以上確保する
③ 壁からソケット背面までの寸法 壁からソケット背面までは 20 mm以上確保する (ホースガイドを取り付ける寸法を確保するためです) 	③ 壁からソケット背面までの寸法 壁からソケット背面までは 20 mm以上確保する (ホースガイドを取り付ける寸法を確保するためです)

【△ 取り付け時のご注意】上記施工推奨寸法以外でのお取り付けは避けてください。ホースが引っかかり転ぶなど思わぬ事故のおそれがあります。

5 ページ

取り付け手順1

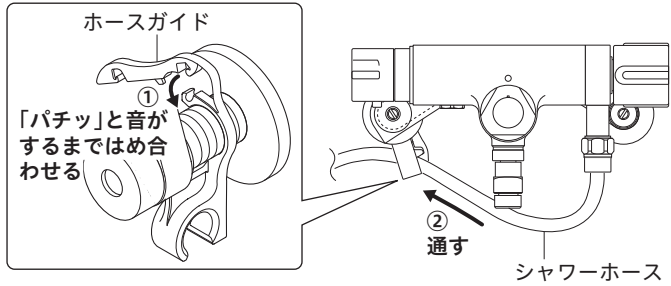
- 給水管内の清掃**
 配管工事後、必ず給湯・給水管内のゴミなどを取り除いてください。
- ソケットと本体の取り付け** (図1) 上から見た図
 - ① ソケットのネジ部にシールテープを巻いて、配管に垂直にねじ込みます。
 - 【お願い】
 - 図1のように湯側と水側のパッキン面は、段違いにならないようにしてください。(シールテープの巻き数にて調節してください。)
 - 図2のように湯側ソケットと水側ソケットは「ハ」の字にして取り付けてください。
 - ② ソケットと本体を接続します。
 - 【△ 注意】
 - 締め付けは、六角の二面幅に合わせて、(図2) 前から見た図
 - モンキーレンチ等で確実に行ってください。しっかり締め付けられていないと、漏水するおそれがあります。
- ソケットカバーと止水栓キャップの取り付け**
 - ① 水側ソケットのストレーナ部に止水栓キャップを取り付けます。
 - ② ソケットカバーを湯側ソケットに取り付けます。止水弁の位置にはめ込んでから時計回りに回します。この時、ソケットカバーのツメがナットの後ろにくるようにはめ込んでください。
- シャワーホースと吐水口の取り付け**
 - ① シャワーホースをホース接続部に取り付けます。
 - ② 吐水口を吐水口接続部に取り付けます。
 - 【お願い】
 - 締め付ける際は、傷がつかないように、あて布等をしてください。

6 ページ

取り付け手順 2

5 ホースガイドの取り付け (水栓を正面から見て浴槽が右側にある場合)

- ① ホースガイドをソケットに取り付けます。
このとき、ホースガイドがパチッと音がするまでしっかりとはめてください。
- ② ホースガイドにシャワーホースを通します。



6 ステッカーの貼り付け

使用方法ステッカーを見やすい位置に貼り付けてください。

取り付け後の点検と清掃 1

通水確認

【△警告】水栓を取り付け後、通水して湯水の出し止めを5~6回繰り返し、配管接続部および水栓から水漏れがないことを確認してください。
確認しないと、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

ストレーナ清掃のお願い

ソケットのストレーナ清掃

ソケットのストレーナにゴミなどがつまりますと、吐水量が減ったり、希望する湯温にならない場合がありますので、施工後必ず清掃してください。

取扱説明書「日常のお手入れ・保守」参照

吐水口のストレーナ清掃

吐水口のストレーナにゴミなどがつまりますと、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、施工後必ず清掃してください。

取扱説明書「日常のお手入れ・保守」参照

7 ページ

取り付け後の点検と清掃 2

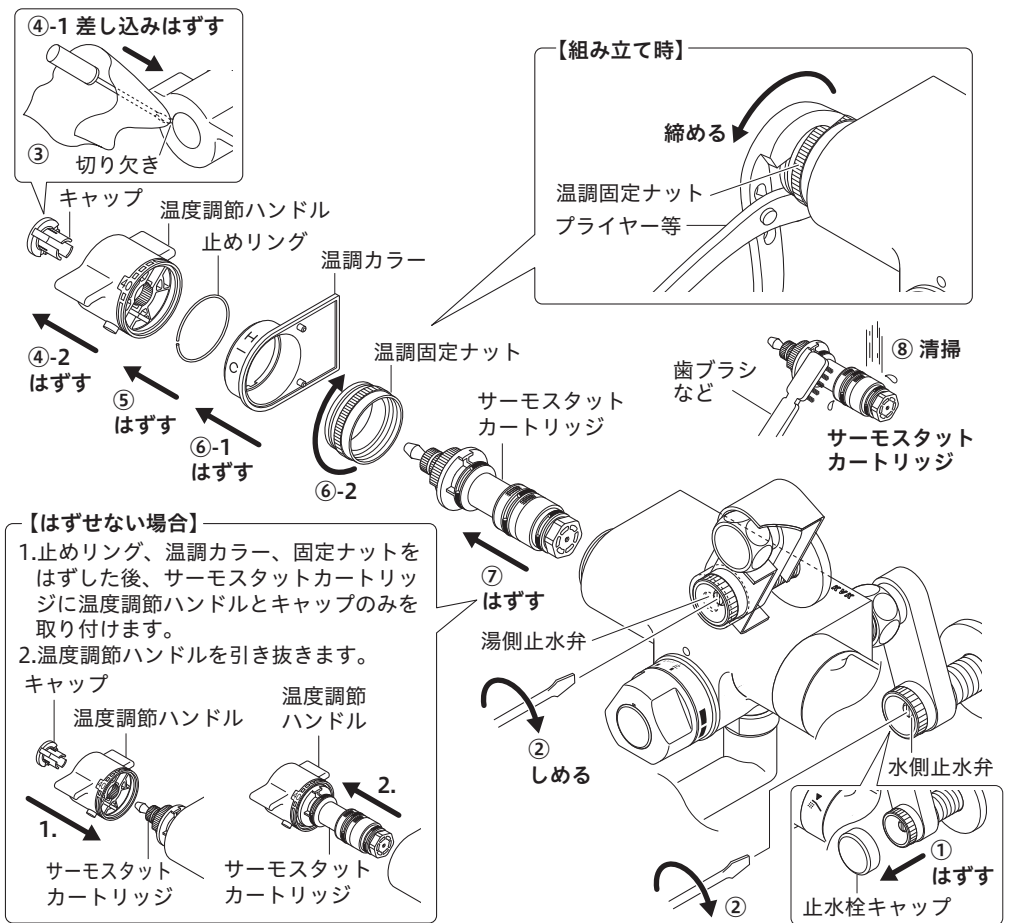
サーモスタットカートリッジの清掃方法

サーモスタットカートリッジにゴミ、水あか、汚れ等が付着しますと、吐水量が減ったり、温度調節がうまくできなくなったりしますので清掃してください。

【△警告】サーモスタットカートリッジの清掃は、止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。サーモスタットカートリッジをいきなりはずしますと、高温の湯が噴き出して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

- ① 水側ソケットの止水栓キャップを手前に引いて取りはずします。
- ② 湯水両側の止水弁(2か所)または元栓をしっかり締めて、湯水が出ないことを必ず確認してください。
- 【お願い】 キャップをはずす際は、傷がつかないようにしてください。
- ③ 薄手の布を精密ドライバーの先端にかぶせます。
- ④ 精密ドライバーをハンドルの切り欠き部に差し込みキャップをはずし、温度調節ハンドルを取りはずします。
- ⑤ 止めリングを精密ドライバー等ではずします。
- ⑥ 温調カラーをはずした後、温調固定ナットをプライヤー等で取りはずします。
- ⑦ サーモスタットカートリッジを取りはずします。
(はずせない場合は、温度調節ハンドルとキャップをはめた状態で引き抜いてください。)
- ⑧ サーモスタットカートリッジをブラシで水洗いします。

【お願い】・組み立て時、温調固定ナットはプライヤー等で確実に締め付けてください。
・取り付け後、温度調節ハンドルの目盛と吐水温度が合っていることを確認してからご使用ください。



8 ページ

取り付け後の点検と清掃 3

温度調節ハンドルの設定方法

工場出荷時に温度調節をしていますが、取付現場の圧力状況および給湯条件により目盛通りの湯温にならない場合があります。

温度調節ハンドルの目盛と吐水温度がズレている場合は、温度調節ハンドルの設定をやり直してください。

【はじめに確かめてください】

- ・止水弁を全開にしているか確かめてください
- ・ストレーナにゴミづまりがないか確かめてください
- ・給湯温度50℃~60℃の湯が給湯できているか確かめてください

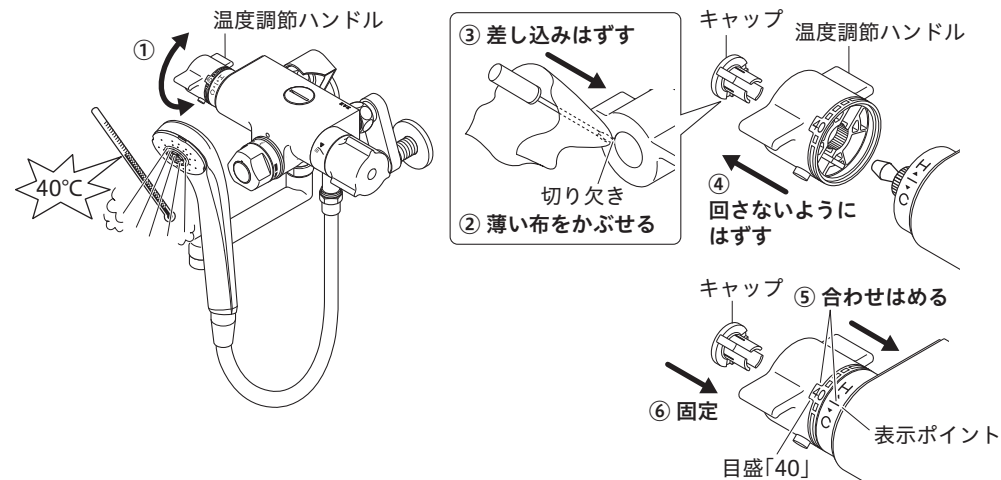
- ① 全開吐水で目盛に関係なく40℃のお湯が出る所まで、温度調節ハンドルを回します。

【お願い】 キャップをはずす際は、傷がつかないようにしてください。

- ② 薄手の布を精密ドライバーの先端にかぶせます。
- ③ 精密ドライバーをハンドルの切り欠き部に差し込みキャップをはずします。
- ④ 温度調節ハンドルを回転させないように取りはずします。
- ⑤ ハンドルの「40」の目盛を表示ポイントに合わせてはめます。
- ⑥ キャップにて固定します。

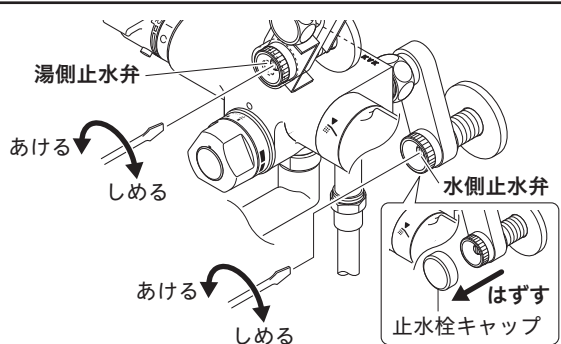
【お願い】 取付け後は、温度調節ハンドルの目盛と吐水温度が合っていることを確認してからご使用ください。

※目盛は温度表示ではありません。目盛は温度調節の目安としてください。



流量の調節方法

水側ソケットの止水栓キャップを手前にはずしてから右記の方法で流量調節を行ってください。



9 ページ

取り付け後の点検と清掃 4

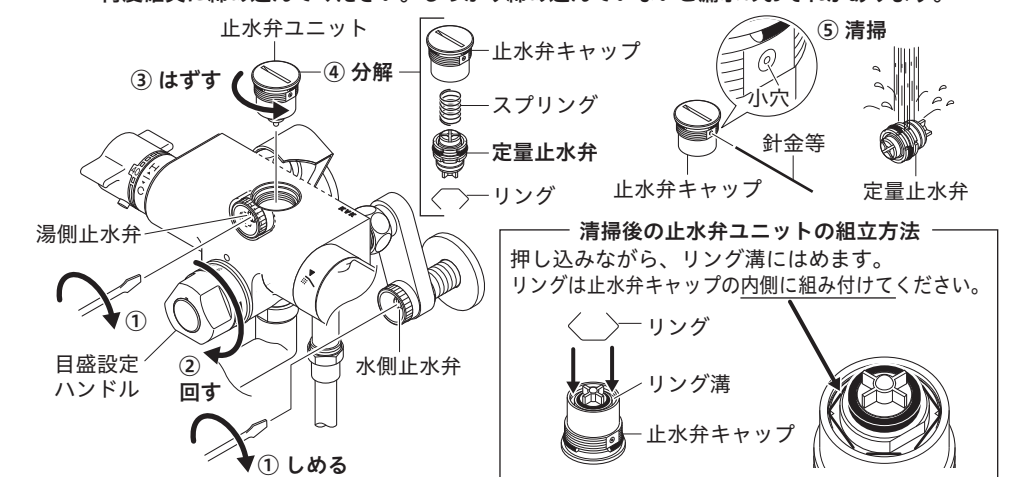
定量止水弁の清掃方法

定量止水弁がつまると、きちんと定量できなくなったり、湯水が止まらなくなりますので、定量止水弁は定期的に清掃してください。

【△警告】定量止水弁の清掃は、止水弁または元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。定量止水弁をいきなりはずしますと、高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して家財などを濡らす財産損害の発生のおそれがあります。

- ① 湯水の止水弁(2か所)または元栓をしっかり締めて、湯水が出ないことを必ず確認してください。
- ② 目盛設定ハンドルを吐水状態にします。(この時、吐水していないことを確認してください。)
- ③ 止水弁ユニットをマイナスドライバー等で取りはずします。
- ④ 止水弁ユニットから、リングをはずして分解します。
- ⑤ キャップの小穴を細い針金等で清掃し、定量止水弁は水洗いします。
清掃後は逆の手順で組み立ててください。

【△注意】止水弁ユニットは、目盛設定ハンドルを止水状態にしてから締め込み、吐水状態にしたのち、再度確実に締め込んでください。しっかり締め込んでいないと漏水のおそれがあります。



故障かなと思ったら...

修理を依頼される前にお確かめください。

➡ 取扱説明書「故障かなと思ったら...」参照

【水栓本体内部のメンテナンスをする場合】

【△注意】修理技術者以外の方は水栓本体内部を分解しないでください。故障や水漏れの原因になります。
水栓本体内部のメンテナンスは、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご依頼ください。

10 ページ

403870-06